

鴨川日東バス「金谷線」（東京湾フェリー～亀田病院）の廃止申出に係る対応について

○廃止申出に至る経緯等について

- ・令和元年12月6日付で、鴨川日東バス株式会社より、千葉県バス対策協議会へ令和2年10月1日をもって路線を廃止したい旨の申出がなされた。
- ・同路線は以前、国・県補助を受けていたが、利用者減少により、平成29年10月1日以降の運行分が補助対象外とされたため、路線存続について、県バス対策協議会にて協議し、国・県補助相当額を鴨川市、鋸南町、富津市の2市1町が負担し、3年間は運行継続することを決めた。
- ・以降、国・県補助の復活を目指し、関係者で利用促進策を実施してはきたが、この2年間で復活に至らなかった。（輸送量 令和元年度13.3人 ※15人以上要）
- ・会社全体の収益が赤字に転落している中、同路線が業績圧迫の一因になっていることが、今回廃止申出に至った主な理由である。

○上記を受けての富津市の方針案

「富津市のキロ程比率（10.57%）に応じた追加補助を行うことで、運行を存続出来るのであれば、存続を希望する。」

【理由】

・金谷線は、亀田病院への通院ニーズや東京湾フェリーから鴨川市への観光ニーズに応える内房と外房を結ぶアクセス路線として重要な役割を果たしているため。

ただし、鴨川市（キロ程比率60.72%）、鋸南町（キロ程比率28.71%）も同様に追加補助に応じるかは、鴨川日東バスが今後各市町へ提示する追加補助に係る試算額を見て判断するとしており、当市単独の意向で存続させることは出来ないため、2月13日に予定されている県バス対策協議会ワーキンググループにおいて協議し、2市1町で合意する必要がある。

○参考情報 【直近年度（平成30年10月～令和元年9月）の実績】

- ・運行区間：東京湾フェリー～鴨川駅～亀田病院
- ・キロ程：35.7km（キロ程比率：富津市10.57%、鋸南町28.71%、鴨川市60.72%）
- ・運行回数：全日4往復
- ・年間輸送人員：28,199人
- ・1日当たり輸送人員：約77人（1便当たり約9.6人）
- ・輸送量：13.3人
- ・経常収益：13,416千円
- ・経常費用：24,340千円
- ・赤字額：△10,924千円（収支率：55.1%）